

読書推進活動の取組

子どもの読書活動の推進するために、家庭、地域、学校等が連携・協力しながら行っている取組を紹介します。



家庭における読書を支援する取組

ブックスタート／ブックステップ

10か月児健診時に、親子のふれあいや、つながりを深められることを願って、一人ひとりの赤ちゃんに絵本をプレゼントします。



また、2歳6か月児健診時には、絵本の読み聞かせを行い、図書館で絵本と交換できるチケットを配布しています。

家読（うちどく）

「家読」は、「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味しており、読書を通して家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書運動です。本市では、コミュニケーションをより深めることができるよう、家庭内で読書記録を共有できる「うちどくノート」を配布予定です。



地域における読書を支援する取組

おはなし会

赤ちゃんから小学生まで、幅広く、様々な年代を対象としたおはなし会を、ボランティア団体と協同で定期的で開催しています。



夏と冬には、楽しいことが盛りだくさんの特別な会を開くなど、子どもたちが楽しみながら、読書に親しむことができる場となっています。

ぬいぐるみのおとまり会

子どもたちがお気に入りのぬいぐるみと一緒に読み聞かせに参加し、そのあと、ぬいぐるみ達は図書館におとまりして、夜の図書館を冒険するイベントです。冒険の様子を写真に撮って、子どもたちにプレゼントするほか、ぬいぐるみがオススメする絵本の貸出もあります。



学校における読書を支援する取組

ごぼうっ子の100冊

小学生に活字を読む楽しさを知ってもらおうと、低学年は読み聞かせから一人での読書につながるような本、中学年・高学年は様々な分野に興味を持ち、知識が深まるような本を選書した「ごぼうっ子の100冊」を市内6小学校の図書館に配架しています。



ビブリオバトル

自分の好きな本を紹介し、コミュニケーションを深め、ゲーム感覚で楽しめる知的書評合戦です。ビブリオバトルのキャッチコピー「人を通して本を知る。本を通して人を知る」のとおり、新しい本や読書仲間と出会える場となっています。

